

旧玉電・江ノ電車両 補修・再塗装工事

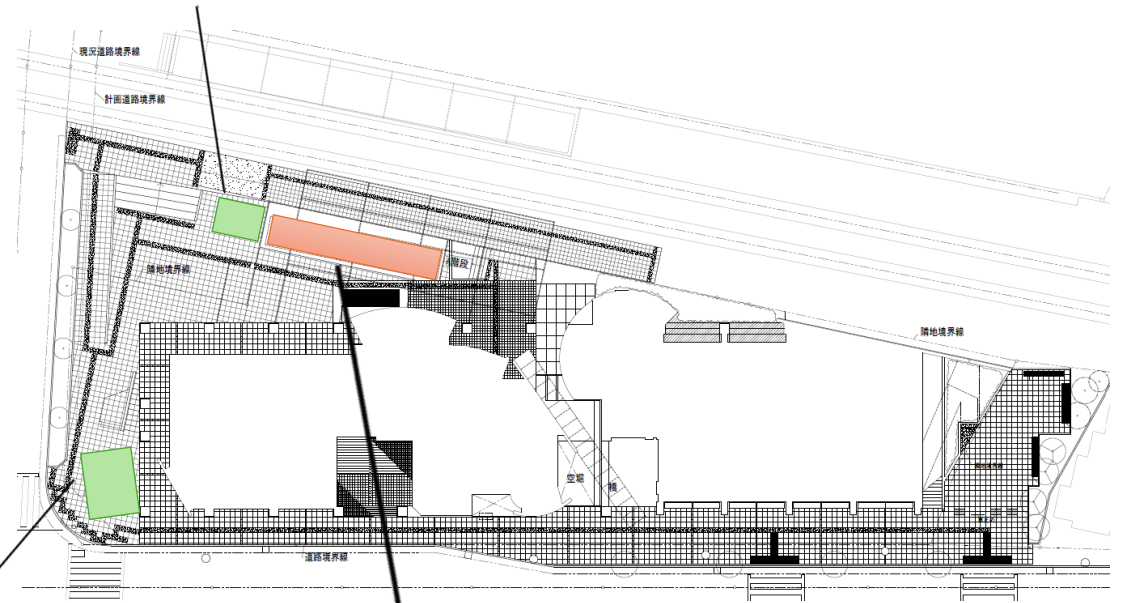
案内図



施工箇所：宮坂区民センター旧玉電・江ノ電車両
(世田谷区宮坂 1-24-6)

宮坂区民センター敷地図

物品置き場スペース



駐車可能スペース
(中型車 1~2 台)

施工箇所：旧玉電・江ノ電車両

宮坂区民センター建物概要

敷地面積 1346.13 m²

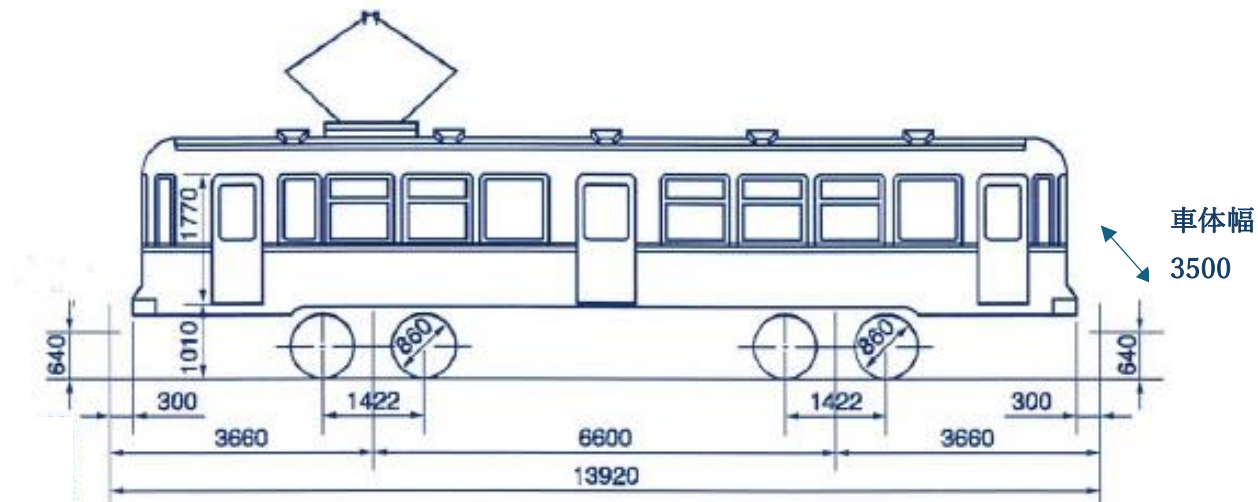
建築面積 898.60 m²

延床面積 2584.49 m²

車両の歴史概要

当車両は大正 14 年に製造され、玉電の愛称で親しまれた渋谷～二子玉川園間の東急玉川線や、世田谷線などを走った。その後、昭和 45 年には江ノ島鎌倉観光株式会社（現江ノ島電鉄株式会社）に譲渡され、主力電車として藤沢～鎌倉間で活躍しました。江ノ電 2000 形デビューに伴い、平成 2 年 4 月、65 年におよぶ長い現役生活に別れを告げた。近接する当時の宮坂地区会館が建築された平成 2 年より現在の場所に保存されている。

車両詳細図



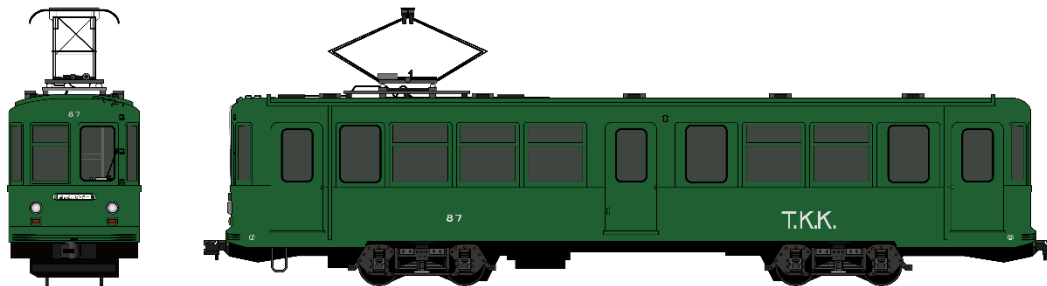
塗装詳細図

塗装については以下の2案より、投票形式にて決定する。

投票は令和8年6月25日～8月16日まで実施するため、決定した塗装色について招請通知の送付（9月2日）の際に通知する。

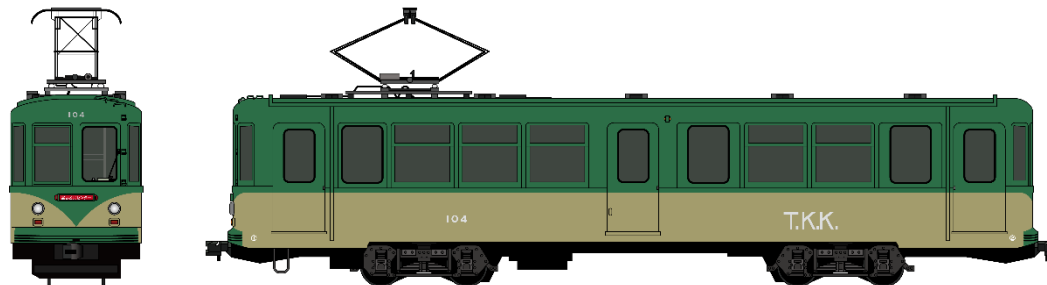
候補① 現行グリーンカラー

現行色。当車両の保存を開始した平成2年当時の世田谷線の車体色。 参考：前回塗装色 日塗工 39-40H (10GY4/4)



候補② 玉電ツートンカラー

玉電を走っていた時代に当車両が実際に塗装されていた車体色。 提供可能資料：以下イラスト、色見本画像



イラスト提供：三瓶嶺良